

水性塗料用水洗ブース処理剤（浮上タイプ）

クリーンベアーデーWP（CBD-WP）取扱説明書

クリーンベアーデーWP CBD-WP（シービーデーWP）は、水性塗料用に開発した水洗ブース処理剤です。水性塗料使用の水洗ブースの泡立ち防止を一番の目標にし、消泡剤による泡立ち防止ではないため、継続的に泡立ちを防止します。又スラッジ（フロック）の粘着性をなくしました。水性塗料以外のブースにも使用可能で、ブースの泡立ちが多いブースに適しています。但し、当製品には脱臭剤防錆剤は添加していませんので、脱臭効果防錆効果は有りません。臭いのあるブースは水洗ブース用脱臭剤（CBDN-1）を1000ℓの用水に対して0.1～0.2%（1kg～2kg）を添加します。錆にたいしては防錆剤サプロテックKC-20を1000ℓの用水に対して0.5～1%（5kg～10kg）を添加します。各々ブースで違いがありますが、脱臭剤（CBDN-1）は約1ヶ月毎に添加、防錆剤サプロテックKC-20は約6ヶ月毎に添加します。

AA) 商品の特長と効果

1. 中性（pH7.5～8.5）で有害な成分は、含有していないため安心して使用できます。
2. 水性塗料特有の泡立ちを防止し泡切れも良好で継続性があります。
3. 水面・水中に浮遊する塗料をフロック化し解離させブース用水の戻り配管、ブース壁面、ブース内部の部材・器具に付着・凝固したり閉塞することを防止します。更に既に従来から付着凝固した塗料を軟化させ剥がします。
4. ブース用水の水面・水中に浮遊する塗料カスをフロック化し浮上させこのフロックを柄のついたザル等で除去する事によりブース用水は透明度を保ちます。
この塗料カス（フロック）は、産廃業者に委託して産業廃棄物処理して下さい。
5. 通常塗料カスで汚れた用水を循環していた為の不具合（ノズル詰まり、汲水不良など）が無くなります。
6. このような事から、ブースの清掃が軽減され、清掃時期が延び大変な省力になります。
7. 用水の透明度が高まる（塗料カスが極端に少なくなる）ことから用水の更新が大幅に減ります。つまり汚れた用水の産廃業者への廃棄委託頻度が大幅に減ります。

BB) 関連補助商品

特に臭いのひどいブースは、水洗ブース用脱臭剤（CBDN-1）を併用して下さい。当製品には防錆効果もあります。

CC) CBD-WPの標準使用量（目安）

初めてCBD-WPを添加する場合

用水の汚れ度合い、並びに用水の更新頻度によりますが、1000ℓの用水に対して0.3～0.5%（3kg～5kg）を用水の吸い込み口に散布添加します。

2トンプースであれば6kg～10kg、4トンプースであれば12kg～20kgを一度に添加します。

一般に最初の原液は非常に汚れている事が多く、また他社の処理剤の影響がCBD-WPの効果を阻害する為上記の量を添加しますが、用水の透明度が増してきましたら添加量は落とせます。ポイントはブースごとの透明度をチェックしながら加減して下さい。

透明度が高くなった後の通常の場合

1 トン（1000ℓ）の用水に対して 1日 200g～500g を目安として ブースごとの状態、透明度をチェックしながら添加量を増減して そのブースに適した状態にして下さい。ブースごとに塗料の使用量、塗装ラインの稼働時間、塗料の種類、ブースの状態によってバラツキがあります。

DD) 使用上の注意事項

- ① CBD—WP は、中性 pH 7.5～8.5 ですが、取扱時にはゴム手袋・保護眼鏡など保護具を着用して下さい
- ② 薬剤が体にかかった時は水でよく洗い、もし目に入った場合は直ちに清浄な流水で 15 分間洗眼し、痛みが残れば医師の手当てを受けて下さい。
- ③ 吸入した場合は温水・うがい薬でうがいし、飲み込んだ場合多量の水または食塩水を飲ませ嘔吐させ、医師の手当てを受けて下さい。

取り扱いに際しては安全データシート（SDS）を必ずお読み下さい。

EE) サンプルの実験方法

ペットボトルに 1ℓ の原水を入れて 5g の CBD—WP を添加して下さい。それをよく攪拌します。3～5 分経つとスラッジが分離し始め、スラッジが浮上し、フロックとなります。分離状態を確認して頂きたいと思えます。またどうしても分離できない場合には弊社にペットボトルに入れた 1ℓ の原液をお送り願えれば、分離する方法を、また弊社でも分離できない場合はその理由を明記して可及速やかにご返事致します。もちろん無料です。

ブース液は塗料の種類やこれまで使用していた処理剤の影響などで浮上時間、浮上状態などが一律ではありません。

繰り返しますが**事前に必ずブース毎にそれぞれ 1ℓ の原液を採取し、それぞれに 5g の CBD—WP を添加して分離状態をチェックして下さい。**分離が不十分と思われるときには、この原液が相当汚れている訳ですから更に 2～3g 添加して再チェックします。

分離した場合 OK ですからブース本体に CBD—WP を添加して下さい。ひどく汚れている場合（塗料カスが多すぎる場合）、ブース液を水で希釈した後 CBD—WP を添加することも有効です。要は汚れすぎている場合、CBD—WP の吸着力を超えてしまい、フロックが沈んでしまったり、中間でとまったりすることがあります。この場合はもう少し CBD—WP を添加してみてください。

ご参考事

- ☆ 他社の処理剤を使用している場合その成分と弊社の CBD—WP とが化学的に影響しあってうまく分離しない時があります。この場合はブース用水を更新するのが望ましいです。

- ☆ ブース処理剤は**出来れば毎日または 2～3 日間隔で添加します。**塗装ラインの稼働率、塗料の使用量によって汚れが大幅に変わりますから**原液の汚れ方、つまり透明度をチェックして決めて下さい。**

- ☆ フロック（スラッジ）は毎日（作業前などに）除去することが望ましいです。（頻繁に除去するほど有効です）またフロックを除去してからCBD—WP を添加して下さい。
ブースにCBD—WPを添加後はしっかりと攪拌して下さい。効果がよく出ます。

- ☆ ご質問、分離不良の場合の対応などご遠慮なく弊社にご連絡ください。お待ちしております。
又、テストしてみたいとの要望が有りましたら、テスト用サンプル（50g）を送らせて頂きます。50gのサンプルがあれば、10回以上のテストができます。
必ずテストして頂ける様お願いします。

株式会社中外ケミテック

〒555-0001 大阪市西淀川区佃4-3-26
T e l 06-6478-8860 F a x 06-6478-8870
E-mail : okada@chugai-chemitech.jp